

南葛飾高等学校 令和5(2023)年度 教科 地理・歴史 科目 歴史総合

教科： 地理 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組 ～ 6 組
 教科担当者： (1 組～6 組) 佐伯 泰子
 使用教科書： (歴史総合・近代から未来へ)
 教科 歴史総合 の目標：

- 【知識及び技能】 知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元「諸地域世界の形成」 ①農耕民と狩猟・遊牧民の関係について、ときに狩猟・遊牧民が農耕社会を支配したことを理解する。 ②秦の統一から清の滅亡まで、中国では皇帝による専制支配が続いたことを理解する。 ③甲骨文字から発達した漢字、漢で官学となった儒学が中国文化の柱となったことを理解する。 ④朝貢貿易により形成された中国を中心とする国際秩序が、自由貿易を求めるヨーロッパとのあいだで摩擦を生んだことについて考察する。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・中国の諸王朝と皇帝による支配について理解している。 ・漢字や儒学などの文化圏の形成やその特徴、朝貢貿易などの東アジア世界の国際秩序のあり方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中国を中心とする朝貢貿易による国際秩序のあり方と、ヨーロッパの自由貿易の考え方の相違点について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地図を活用しながら中国の王朝の変遷を確認し、狩猟・遊牧民と農耕社会の関わりについて分析しようとしている。 ・中国の諸王朝やその文化と、日本など東アジアの国々の関係を追究しようとしている。	○	○	○	5
B 単元「歴史の扉」①身近な事柄が、時間的な推移や空間的な結びつきのなかで歴史と結びつきをもっていることを理解する。 ②私たちの生活に関わる制度や習慣について分析する際に、歴史的に構築されていることをふまえることが大切であることを理解する。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人2台端末の活用 等	【知識及び技能】 身近な砂糖を題材に私たちの生活が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 砂糖を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。身近な題材に対してみずから「問い」を立て、歴史との関連を追究しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
C 単元「近代化への問い」①交通と貿易に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ②産業と人口に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ③権利意識と政治参加や国民の義務に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ④学校教育の変化に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑤イギリスや日本の労働と家族に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑥アメリカ合衆国への移民や、日本からの移民に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・資料を利用して、交通の発達や貿易の拡大が近代化の重要な側面であることを理解している。 ・資料を利用して、産業発達と人口増加の関連性が近代化の重要な側面であることを理解している。 ・資料を利用して、身分を問わずに権利や義務を課すことが近代化の重要な側面であることを理解している。 ・資料を利用して、学校教育の均質化・一般化が近代化の重要な側面であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・諸資料から、交通の発達や貿易の拡大が近代化にあえた影響について考察している。 ・諸資料から、産業革命前後に発生した産業と人口の変化の関係性について考察している。 ・諸資料から、日本で19世紀におこなわれた、身分を問わずに義務を課そうとする動きや、同様に身分を問わずに権利を獲得しようとする動きの関係性について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・交通の発達や貿易の拡大について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・産業の発達や人口の増加について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・権利と義務の関係性について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・学校教育の均質化・一般化について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ・産業革命にともなう労働や家族の変化について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10

1 学期

2 学 期	D 単元 「近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立」①クリミア戦争の概要をとらえ、その経過や重要な点を理解する。 ②イギリスとフランスの国内状況をとらえ、対外政策の概要を理解する。 ③イタリアとドイツの統一国家形成の過程をとらえ、時系列にそって理解する。 ④ビスマルク外交について、その基本方針を理解し、具体的にどのような国と同盟関係を結んだのかを考察する。 ⑤この時代の国際的諸運動の進展や文化・科学と社会の変容について、具体的な例をあげながら考察する。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】・クリミア戦争の経過とその重要性を理解している。 ・イギリスとフランスの対外政策を国内状況とあわせて理解している。 ・イタリアやドイツの統一国家の形成について理解している。 【思考・判断・表現】・ビスマルク外交の基本方針が、どのように外交政策に反映されたかを考察し、表現している。 ・19世紀の文化・科学と社会の変容を、具体的な例をあげながら表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・今日の国家につながるイタリアやドイツの統一が、ヨーロッパのパワーバランスにどのような影響を与えたのかを検討しようとしている。 ・19世紀の文化と科学が今日の社会にも影響をあたえている点を見出そうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	E単元「明治維新と日本の立憲体制」①大政奉還のねらいをふまえ、明治新政府の成立や戊辰戦争の展開を理解する。 ②五箇条の誓文に示された新政府の国家方針を理解し、版籍奉還と廢藩置縣の歴史的意義を考察する。 ③四民平等に向けた諸改革の内容を理解し、同じ義務をもつ「国民」がどのように形成されたかを考察する。 ④教育の近代化や西洋思想の流入をふまえ、文明開化の風潮と広まりを理解する。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】・大政奉還の上表以降、明治新政府が成立していった経緯を理解している。 ・四民平等へ向けた諸改革を理解し、文明開化の風潮と広まりを整理し、理解している。 【思考・判断・表現】・大政奉還の上表・五箇条の誓文の史料を読み、新政府の方針を比較して共通点・相違点を考察している。【学びに向かう力、人間性等】・新政府の方針をとらえるとともに、諸藩がどのように対応したかを、新政府側、諸藩側の立場にたつて探究しようとしている。 ・文明開化の内容とその風潮や広まりについて調べることに取り組もうとしている。 ・四民平等の原則により、同じ義務をもつ国民が形成され、徴兵や租税の徴収がどのようにして実施されたのか考察している。	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1	
2 学 期	F単元近代化と現代的な諸課題①自由・制限の観点から、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、近代化と私たちが表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。 ②開発・保全の観点から、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、近代化と私たちが表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】・自由・制限の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。 ・開発・保全の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。【思考・判断・表現】・自由・制限の観点から、国家間の関係の変化などに着目して、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現している。【学びに向かう力、人間性等】・自由・制限について、よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりや課題を見出そうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	G単元国際秩序の変化や大衆化への問い①対立・協調の観点から、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、国際秩序の変化や大衆化と私たちが表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。 ②平等・格差の観点から、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、国際秩序の変化や大衆化と私たちが表現した問いを振り返り、新たに加わった視点や理解が深まったと考えられる点についてまとめる。 ③統合・分化の観点から、これまでの学習を振り返り、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察し、探究した結果を表現する。また、国際秩序の変化や大衆化と私たちが表現した問いを	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】・資料を利用し、戦争や交易における結びつきの変化が国際秩序の変化や大衆化の重要な側面であることを理解している。 ・資料を利用し、アメリカ合衆国とソ連の世界の工業生産における台頭が国際秩序の変化や大衆化の重要な側面であることを理解している。【思考・判断・表現】諸資料から、国際関係の緊密化が戦争や貿易があたえた影響について考察している。【学びに向かう力、人間性等】・アメリカ合衆国とソ連の台頭が国際社会に与えた影響について見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	H単元グローバル化への問い①冷戦下での国際関係と各国の取り組みに関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ②グローバル化のなかで、人口や資本の移動が各国や国際社会に与えた影響に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ③高度情報通信の構築に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ④世界の食料と人口の問題に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑤グローバル化における資源・エネルギーと地球環境をめぐる問題に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑥グローバル化と感染症の問題に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。 ⑦アメリカ合衆国と多様な人々の共存のあり方に関する資料をもとに問いを立てて、学習の見通しをもつ。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	【知識・技能】諸資料から問いを立てることができることや、経緯や背景、共通点や相違点、担い手といった視点から整理することが有効であることを理解している。【思考・判断・表現】・地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因・過程を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。【学びに向かう力、人間性等】・人間のもつ基本的人権を理解し、男女の平等、男女差別とは異なる性的差別の問題にも着目して、どのように対応していけばよいかを追究しようとしている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○	○	1